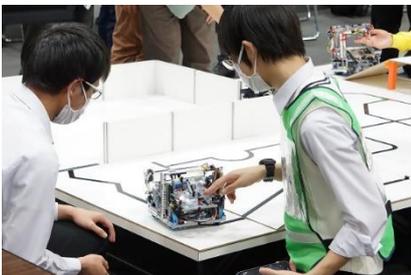


## ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2023 名古屋で審査員特別賞を受賞

令和5年3月24～26日にポートメッセなごやで開催された「ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2023 名古屋」のワールドリーグ・レスキューラインに、コンピュータ部の2年生3名のチームが岡山ブロック代表として出場しました。

ワールドリーグ・レスキューラインは、コースをライトレースしながら進んでいき、被災者を模した球体を決められた場所に運んでからゴールする自律型ロボットを製作して、どれだけ障害物を乗り越えながら進むことができたのかをポイントで競います。

3日間に渡って開催された本大会ではロボットの調整に苦戦していましたが、生徒たちは諦めることなく挑戦し続けていました。3回行われた競技の結果は10位で上位入賞することはできませんでしたが、審査員特別賞を受賞することができました。



## 【出場生徒の感想】

- 今回、本競技での結果は芳しくありませんでしたが、審査員特別賞という形で自分たちの努力が認められたことは非常に嬉しく思います。また、強いチームや企業との交流を通じて、さらなる成長の機会を得ることができました。これを機に、さらなる高みを目指して今後も精進していきたいと思えます。
- 大会の本番で、はんだ付けが必要になったのですが、その際に焦ってしまい配線の向きを間違えてしまいました。なかなか思い通りにいかないのだと痛感しました。また、千葉工業大学のチーム「CIT Brains」のヒューマノイドロボットによるサッカーのデモンストレーションを見ました。人間とほぼ同等の条件にするためにカメラの回転やロボットの関節などの機能をあえて抑えた状態で戦うことが難しそうでした。
- 私は全国大会に出場して、様々な個性的なロボットを見ることができ、より一層ロボットに興味を持つ機会を得ることができました。また、会場内の企業ブースを見て、ロボットが今後さらに社会で活躍する様子を見ることもできました。